

正誤表（達成状況評価）

51：滋賀医科大学

No.	頁数	誤	正	修正事由
01	p. 1	<p>1. 教育については、医学部では、解剖体慰霊式等を通じた倫理観の涵養、医師不足の解消に向けた地域に貢献する医療人の育成、訪問看護師コースの実施など、社会的な要請に応えた教育を実施している。</p> <p>2. しており、地域の住民や診療所等の協力も得ながら医療人を育成している。</p>	<p>1. 教育については、医学部では、解剖体慰霊式等を通じた倫理観の涵養、医師不足の解消に向けた地域に貢献する医療人の育成、訪問看護師コースの実施など、社会的な要請に応えた教育を<u>実施しており</u>、地域の住民や診療所等の協力も得ながら医療人を育成している。</p>	誤った改行及び重複した字句の削除
02	p. 11	2019 年度にルーブリックを作成し、学修成果の可視化を推進した（別添資料 1-1-1-5-b）。	2019 年度にルーブリックを作成し、学修成果の可視化を推進した（別添資料 1-1-1-5-a）。	誤字
03	p. 37	医療人としての資質・適正をより適格に判断できるよう改善した。	医療人としての資質・ <u>適性</u> をより <u>的確</u> に判断できるよう改善した。	
04	p. 38	学生の能力・資質をより適格に判断できるよう、	学生の能力・資質をより <u>的確</u> に判断できるよう、	
05	p. 58	共同研究及び実用化を第 2 期中期目標期間実績の 10%増とする。（◆）	共同研究及び実用化を第 2 期中期目標期間実績の 10%増とする。（◆） <u>（★）</u>	脱字